

(別紙・参考)

入 免 B (/)

平成14年度入学料免除希望者の家計状況

担当者名			
連絡先	TEL	()	(内線:)
	FAX	()	

学校コード	(A)		
	1		
			学校名

{日本人学生:「0」、私費外国人留学生:「1」}

{経済的理由かつ学業優秀:「1」、災害等特別な事情:「2」}

「学種」コード一覧

学生区分	免除事由	学種
(B)	(C)	(D)
5	6	7

家計評価額による区分		世帯人数(人)	対象人数(計)
区	分		
符号		(H)	(I)
(E)	(F)	(G)	(I)
11	12	16	17
		B	
		B	
		B	
		B	
		B	
		B	
		B	
		B	
		B	
		B	
		B	
		B	
		B	
		B	
		B	

学種		コード
学部	昼間	0101
	夜間	0102
大学院	修士	0201
	博士	0202
大学の専攻科	特殊教育	0301
	その他	0399
大学の別科	養護教諭	0401
	その他	0499
療科教員養成施設		0501
短期大学		0601
高等専門学校		0701
高等学校		0801
盲・聾・養護学校	高等部	0901
	幼稚部	0902
専修学校各種学校	看護学校	1101
	診療放射線部	1102
	臨床検査技師学校	1103
	歯科衛生士学校	1104
	歯科技工士学校	1105
	助産婦学校	1106
	保健婦学校	1107

1 本票は、「学生区分」(日本人学生、私費外国人留学生)、及び「学種」ごとに別葉とし、(別添)「収入基準額表(家計評価額算出用)」の世帯人数別に区分して記入すること。なお、大学院の研究科・大学の専攻科にあつては、入学料免除取扱要領 の一の本文に係る「経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者」と、ただし書きに係る「災害等特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者」の事由別に別葉とすること。

ただし、該当のない区分については作成を要しない。

2 本票の作成に当たっては、様式をコピーして作成のうえ提出する(A4縦長)こととし、上段「入 免 B(/)」のカッコ内に通算枚数で(ページ/提出総数)を記入すること。

3 本票は、入学料免除希望者のうち、承認申請に係るもので、家計評価額による区分ごとに、学内選考機関の議による免除希望者の人数を記入すること。なお、数字は各欄ともカンマ「,」は記入せず、右詰とする。また、該当のない欄は空白にしておくこと。

4 「学校コード」欄は、(別添)「学校コード一覧」によるコードを記入すること。

5 日本人学生分と私費外国人留学生分は別葉に作成し、「学生区分」欄には、次のコードを記入すること。

日本人学生：「0」、私費外国人留学生：「1」

6 「免除事由」欄は、次のコードを記入する。

経済的理由かつ学業優秀：「1」、災害等特別な事情：「2」

7 「家計評価額による区分」欄は、家計評価額の高い(マイナスの小さい)ものから順に、1万円単位で該当する額を記入する。

なお、「符号」欄には「-」を記入すること。

8 世帯人数欄は世帯人数の少ないものから順に記入すること。

9 入学料免除取扱要領の 一による大学院の研究科等に入学する者に係る当職あての承認申請については、家計評価額が「マイナス250万円以下」の者についてのみ行うこと。

10 家計評価額は、(別添)「入学料免除申請等に係る家計評価額の計算方法」に基づき、次のように算定する。

$$\boxed{\text{総所得金額}} = \boxed{\text{総収入金額}} - \boxed{\text{必要経費}} - \boxed{\text{特別控除額}}$$

$$\boxed{\text{家計評価額}} = \boxed{\text{総所得金額}} - \boxed{\text{収入基準額}}$$

なお、収入基準額は、次表の収入基準額表(家計評価額算出用)を適用すること。

11 本票の作成に当たっては、様式をコピーして作成のうえ提出することとし、上段「入 免 B(/)」のカッコ内に通算枚数で(ページ/提出総数)を記入すること。